

和の光

宝塚市立西谷中学校



人との繋がりに感謝

～1通のお手紙から学んだこと～

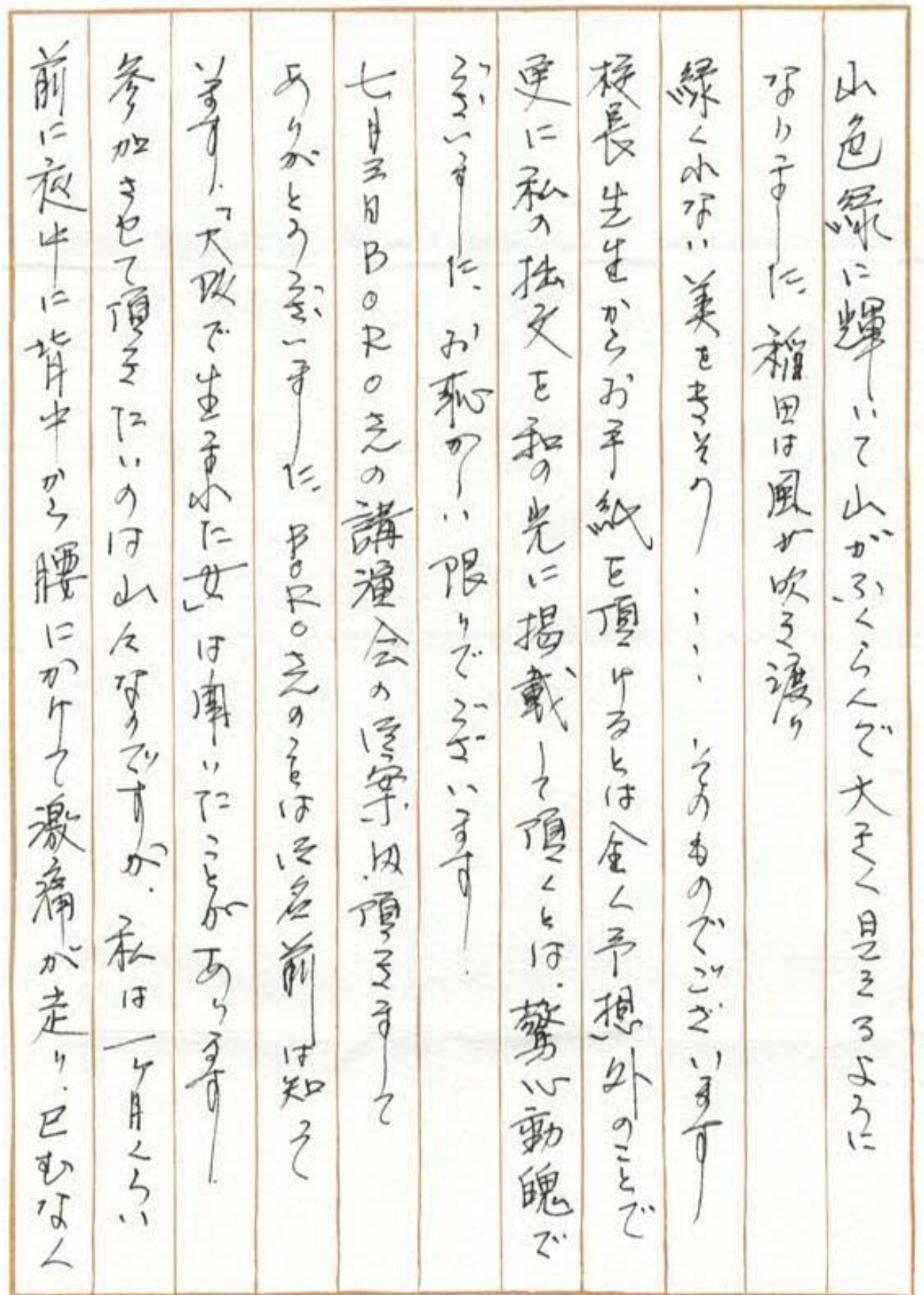
校長 筒井 啓介

西谷中卒業生(西谷地区在住の84歳女性)から6月上旬にお手紙をいただき、その内容(西谷中のことを心から愛し、在校生の皆さんが教室・グラウンド・体育館で青春を謳歌する様子を思い浮かべながら、やがて巣立ちゆくみなさんに対して、「友達との絆の大切さ」「不安な心境を先生に聞いてもらえたことの有難さ」「西谷が誇れる自然環境の有難さ」などをご自身の経験から綴っておられました。)に心を打たれた私は、早速お礼の手紙を書かせていただきました。その手紙には、皆さんがいきいきと活躍する姿を実際に見てもらおうと思い、BOROさんの講演会へのお誘いを書きました。

そして、6月下旬に私の手元に1通の手紙が届きました。中身を確認すると、先述の女性からの返信でした。まさか返信までいただけたとは思ってはおらず、とても恐縮しました。ご高齢ということで長時間座っていることが難しいため、講演会への参加は叶いませんでしたが、お元気にされているようで、一安心しました。

このお手紙の文末に書かれている一節「昨日、私が散歩をしている時、下校中の地区の中学生が『ただいま』と声をかけてくださいました。にっこり笑って、やっぱり西谷中学生はいいなと、ぬくぬくとした思いで帰ってきました。」を読んで、その光景が目には浮かび心が温くなりました。(地域の方に自然に挨拶できることは、とても素敵なことです。そんな生徒が西谷中にいることが嬉しく思います。)

このお手紙を通して、私は地域の方からの西谷中への期待や熱い思いを知ることができました。心から感謝しています。いつまでもお元気でいてください。そして、いつの日か西谷中でお会いできることを心から願っています。



西谷中卒業生からのお手紙①(西谷在住)

ことがござります。

昨日「私の散歩」という時下校中の地区の中学から
「たに」と声をかけて下さった。

面もにうり笑う。やはり西谷中学生はいいなと
ぬくぬくに思えて帰ってきた。

お礼のし校長先生に駄文を送りまして申し訳ないこと
どうぞお身体お大切に

六月二十一日

西谷中学校 校長 筒井啓介 様

救急車が入院し、手当を受けました。一晩の入院で
すんぽりですみみ来三十分以上同じ姿勢でいるとまた
具合が悪くなるといふと用いするようになります。に
検査の結果は悪いところはなしとありました。私が
自己診断するに、その日はお寺の行事で二時間くらい
正座してました。寒かったのと、体を動かさなかったのが
筋肉が硬直したような感じを受けました。
人間の脳は総合的に判断して指令を出すんで、よく
体の部署はもっと早々に態勢を変えてよと、言うて
いたような気がします。体の声を聞かずに平胞していたのか
うたにこのように思っています。このような次第で参加させて頂く